

中学1年生

内容項目:C(13) 勤労

教材名:私は清掃のプロになる

あらすじ:慣れない日本で清掃の仕事を始めた新津春子さんが、仕事の魅力を見だし、恩師に言われた「心」について考える。



～生徒の振り返り・感想～

- ・自分が満足したことでも相手が良いと思っているかは分からないから、自分が相手の立場になった時や、相手の気持ちを考えることで思いが届くと思った。
- ・最初は少し抵抗があるものでも、人に感謝されたりやりがいが見つかったりすると楽しさも感じられることが分かったから、自分には無理かとも思っても、一度やってみることが大切。
- ・何をするにあたって、心を込めること、相手のことを思うことが大切だと思ったし、取り組んでいきたいと思った。
- ・利益を考えるのではなく、相手が喜ぶことは何かを考えて行動しようと思った。
- ・どんな仕事を任されても、与えられたことを全力でして、少しでも誰かが過ごしやすくなるような工夫をすることが大切だと考えた。

中学2年生

内容項目:A(5) 真理の探究、創造

教材名:戦争を取材する

あらすじ:自分の仕事や存在に悩んでいた山本美香さんが、息子を亡くし悲しむ父親の言葉をきっかけに、ジャーナリストとしての使命に気づく。



～生徒の振り返り・感想～

- ・自分とは関係がないと考えるのではなく、世の中で起きていることについてもっと知る必要があると思った。

- ・戦争の真実を伝えてくれる人のことは今まであまり考えたことがなかったけれど、授業を受けて、みんなのために命をかけて取材してくれていることに驚いた。いろいろなことの真実を自分の目で確かめていこうと思った。
- ・今の私にできることは、戦争について知ることだと思った。
- ・自分が知らない間に世界はいろいろなことが起きていて、戦場に行って世界の現状や救えない命や悲しんでいる人などがいるということを訴えることがとても大切だと感じた。

中学2年生

内容項目：A(1) 自主、自律、自由と責任

教材名：ネット将棋

あらすじ：「僕」は、匿名をいいことに不誠実な態度でネット将棋に臨んでいた。ある日、健人がネット将棋での礼儀について話しているのを聞く。



～生徒の振り返り・感想～

- ・相手の気持ちを考え、嫌な思いをさせない行動を取ることが責任ある行動だと思った。
- ・自分が始めた対戦や活動を途中で投げ出さず、最後までやり切ることの大切さについて考えた。
- ・インターネット上でも、対面と同じように「あいさつ」や「感謝」を大切にすべきだと思った。
- ・将棋の場面では、「お願いします」や「ありがとうございます」、「負けました」といった言葉をしっかり伝えることで、お互いが気持ちよく終われると考えた。
- ・顔や名前が見えないインターネットだからこそ、より責任ある行動が必要だ。

《「ネット将棋」に関連して・・・》

対面の会話では当たり前存在する表情やジェスチャーなどは、私たちが相手の気持ちや発言の意図を理解するための大切なはたらきをしてくれます。

一方で個人情報の漏洩等から守ってくれる匿名性ですが、他方では無自覚な他者への攻撃の一因になる可能性があります。誰でも、いつでも、どこからでも、自由に繋がられるインターネットは、私たちの生活の一部となっています。相手の顔が見えないからこそ、相手への配慮や気遣い、思いやりを忘れずに、安心・安全なネット社会を創っていきたいですね。

